







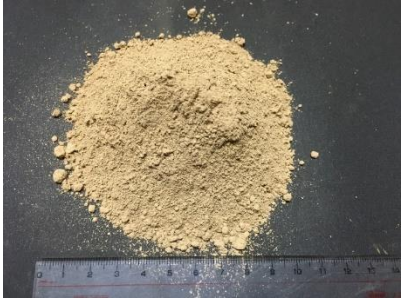

【別表2】市販培土の性質（詳細）一覧

鹿児島大学 浅野陽樹, 池田舟


【別表2】市販培土の性質（詳細）一覧

No.	名 称	概 要	物理的性質		
			保水性 (mL/100mL 培土)	排水性 (mL/秒)	通気性 (%)
1	黒ボク土 	<p>日本に広く分布し, 火山灰に有機物が集積して生成された。畑地・樹園地・牧草地で用いられ, 日本の畑地の5割近くを占める。</p> <p>保水性・排水性に優れるため, 基本用土として使用される。ただし, リン酸の吸着力が高く酸性を示す。</p> <p>改良には, pHの矯正およびリン酸の補給が重要となる。</p>	58	0.2	4
2	パーライト 	<p>真珠岩などを高温で焼成発砲させたもので, 細かい空隙を有する。</p> <p>保水性や排水性の改善資材として使用される。ケイ酸に富み, カリウム等を含むが, 作物の養分としての効果は期待できない。</p> <p>pHは中性または弱アルカリ性を示す。</p>	47	13	26
3	バーミキュライト（粒度5） 	<p>ひる石を高温加熱処理したもので, 原鉱石から何倍にも膨張したため空隙を持ち軽い。</p> <p>保水性, 排水性, 通気性に優れるとともに, 肥料の吸着能も高い。中性である。</p> <p>主たる添加効果は排水性の改善であるが, 土の膨軟化と通気性の改善も期待される。</p> <p>使用時には, 吸水に時間を要することに注意する。</p>	60	11	31

4	<p>バーミキュライト（細粒）</p> 	<p>バーミキュライトを 2 mmの篩にかけたもの。 前記バーミキュライトと比べて、保水性に優れ、排水性と通気性も良好である。</p>	71	4	21
5	<p>腐葉土</p> 	<p>古くから利用されている資材で、広葉樹の落ち葉が発酵腐熟したものや人為的に落ち葉を腐熟させたものがある。 多孔質なため保水性に優れ、またその形状から排水性にも優れる。保肥力も高いが、堆肥のように肥料分を保持しない。 市販の腐葉土の中には、施用初期（1～2カ月）には窒素飢餓を引き起こし、数カ月後に無機化され肥料効果を示すものもある。</p>	44	12	50
6	<p>赤玉土（小粒）</p> 	<p>関東ローム層に下層土である赤土から細かい粒子部分をふるいなどで除いて一定の大きさの粒を集めたもの。その中で3~6 mmの粒子径のものを小粒としている。搬送中に一部が砕かれるため、3mm以下の細粒も含まれる。 団粒のため保水性、排水性、通気性に優れる。弱酸性で肥料分は含まれない。 基本用土としても補助用土としても活用できるが、基本用土として使用する場合は、破碎された細かい粒子による排水不良に注意する。</p>	54	8	15

7	<p>赤玉土（細粒）</p> 	<p>赤玉土の中で 1~2 mmの粒子径のもの。 小粒と比較して粒子径が小さいため、排水性と通気性が低いが、保水性は高い。 野菜栽培の基本用土として使用した場合、小粒と比べて生育の良い作物が多い。</p>	57	0.9	7
8	<p>赤玉土（粉碎）</p> 	<p>赤玉土を粉碎して粉状にしたもの。 小粒や細粒と比べて、保水性には大差ないが、排水性と通気性が著しく悪い。 保水性の改良資材として、あるいは排水性・通気性の悪い土の対照としての使用が想定される。</p>	54	0.007	1.5
9	<p>火山灰</p> 	<p>桜島の噴火による降灰を集めたもの。 粒子が細かいため、排水性と通気性が悪い。二酸化ケイ素を主な成分とし、カリウム、マグネシウム、鉄、ナトリウム等を微量に含んでいる。</p>	41	0.1	0.01
10	<p>鹿沼土（小粒）</p> 	<p>栃木県鹿沼市一帯から採取される。軽量で運搬が容易である。 鹿沼土の中で 3~6 mmの粒子径のものが小粒とされる。保水性、排水性、通気性に優れ、酸性を示す。肥料分は少ない。また、水を含むとわずかに膨らむ。</p>	55	12	30

11	<p>鹿沼土（細粒）</p> 	<p>鹿沼土の中でも 1~2 mm の粒子径のもの。 小粒と比較して粒子径が小さいため、排水性と通気性が低いが、保水性は高い。</p>	61	7	18
12	<p>鹿沼土（粉碎）</p> 	<p>鹿沼土を粉碎して粉状にしたもの。 小粒や細粒と比べて、保水性には大差ないが、排水性と通気性が著しく悪い。 保水性の改良資材として、あるいは排水性・通気性の悪い土の対照としての使用が想定される。</p>	62	0.01	7
13	<p>川砂</p> 	<p>河川の中流や下流域に堆積する砂状のもの。 花や野菜の基本用土に用いられるが、保水性は高くなく、乾きやすい。また、保肥力は低く、中性を示す。</p>	37	0.9	6
14	<p>燻炭</p> 	<p>植物残さなどを蒸し焼きにした炭化物で軽い。 保水性、排水性、通気性に優れる。ただし、吸水に長時間を要し、またすぐに乾燥する。そのため、加湿状態になりにくいという性質を持つ。無機養分を含みアルカリ性を示す。 排水性の改善、酸性培土の中和、無機養分の添加、有機物の添加などを目的として使用される。</p>	74	6	20

<p>15</p>	<p>ピートモス</p> 	<p>水苔泥炭を水洗いして精選, 乾燥, 粉碎したもの。 孔隙量が多く, 保水性, 通気性, 保肥力に非常に優れる。肥料分は少なく, 強い酸性を示す。欠点として乾燥すると水となじみにくくなる(はじく)ことから, 吸水に非常に長い時間を要する。その場合, 灌水時に浮きやすいことにも注意する。 保水性・排水性の改善目的で, また酸性を好む作物の基本用土として使用される。</p>	<p>58</p>	<p>0.7</p>	<p>37</p>
<p>16</p>	<p>堆肥 (牛ふん)</p> 	<p>牛の糞におがくずやもみ殻, ワラ, ウッドチップなどの植物性副資材を混ぜて発酵させたもので, 有機質肥料として最もよく使用される。 保水性, 排水性, 通気性, 保肥性に優れ, 肥料分も多く含まれる。 保水性, 排水性, 通気性の改良効果が期待されるが, 主として有機質肥料としての効果を期待して施用される。</p>	<p>56</p>	<p>5</p>	<p>28</p>
<p>17</p>	<p>ボラ土</p> 	<p>火山周辺に分布する多孔質の硬い軽石のこと。未風化の白色軽石を白ボラ, 風化して黄色くなったものを黄ボラ, 苦鉄質で黒色のものを黒ボラとそれぞれ称する。 保水性, 排水性, 通気性にも優れる。pHは5~7の弱酸性を示す。</p>	<p>50</p>	<p>10</p>	<p>16</p>